

林檎

岩手Mac友の会

Vol. 1, No.5 1989.10.5

Iwate Macintosh Funclub

MMM開催

参加者の迷惑をも顧みず、無謀な計画とも思えたMeet the Mac in Moriokaでしたが、50名以上の参加を数え、無事開催することができました。これは一重に皆様のご協力の賜であり、感謝にたえません。本当にありがとうございました。

遠方から参加されたMacの著名人の方々をはじめ、東北3県（青森、秋田、宮城）それぞれのユーザーズ・グループの方々には、これを機会に親睦を深め、いろいろな面で交流を深めていきたいと思っておりますので、今後ともご指導をお願いいたします。

なお、初めての開催ということもあって、なにかと不行届の点があったと思いますが、同好のよしみでお許しいただきたいと思っております。

私共では、友の会結成依頼のものすごく楽しい一時でしたので、ずうずうしく次回開催を計画するつもりですので、ご意見やご希望をお待ちいたしております。

なお、参加された皆様には、のちほどIMFオリジナルの記念品をお届けすることになっておりますので、ご笑納下さい。

惜しくも参加できなかった方々のために、今回の会報ではMMM特集を組みました。どうぞ雰囲気存分に味わってください。

例会便り

最近、仕事と例会が重なる率が高くなり、会員の皆様に見放されそうになってきました。申し訳ありません。こんな私を見切って高橋さんが例会の様子を報告してくれました。

今日の目玉は、なんとと言っても木津屋さんが持ち込んだMacIIcxでした。野村さん、徳富さん方主要なメンバーを欠いた例会はMacIIcxが唯々早いなーと言う感想ばかり聞かれました。（ここのところ、SE30、MacIIcxと話題の新機種が登場が続き、感激が薄れてきた感もありますが..この倦怠感を破るのは、NeXTかSystem7.0のリリースか?）

今回の例会はテーマが決まっていませんでしたので、終始会員相互の情報交換になりました。（全く何も用意していかなかったので、皆さんすみませんでした）

木津屋さんがM.M.Mの受付で使おうかということで、キャノンのスチルカメラをもって来まして色々試写してみました。結構色の再現性がいいのでこれは行けるかな?と言ったところでしょうか。再生には超小型の液晶テレビをもって来ていましたので、写真の整理もうまく行くかな?

以上例会の報告でした。高橋

セミナー便り

好評だった第一回のセミナーに気を良くして第二回もHyperCardのセミナーを企画しましたが、開催案内の連絡が不徹底だったため、会員や講師の方々に大変なご迷惑をおかけいたしました。お詫び申し上げます。

運営方法など検討しなおして開催するつもりでいますので、今後に期待してください。意見も待っています。

Inside

Meet the Mac	2
英文コラム	3
MMM特集	4
MMMメッセージ	6
林檎ギャラリー	8
茶房	9
私のMac Life	10
山の花	12
気ままなコラム	14
林檎ギャラリー	15
BBS Now	16
余計なお世話	18
掲示板	19
会員名簿	19
編集後記	19

Meet the Mac

...by 照井 章

アメリカでは高校の授業にMacが使われていた!!

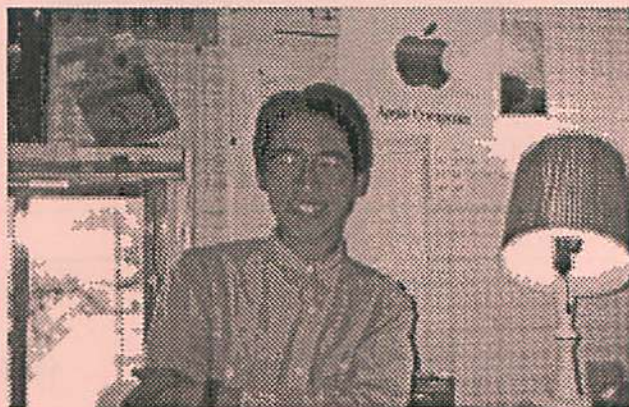
私がMacを初めて見たのは、たしか「初歩のラジオ」かなんかの広告だったと思います。その時に書かれていた「時計、電卓、ごみ箱も備えたマシン」というコピーを読んで、こんな小さなマシンのどこにごみ箱なんかがあるんだろう、と不思議な気分になりました（もちろんこの「ごみ箱」というのは、Macのデスクトップにある「Trash」だったわけです）。その上、PCなんか及びもつかないような価格だったことにも驚きました。要するに、私にとって何だかよくわからないマシンだったのです。

その後しばらくの間、Macは私の脳裏から離れた存在でした。そんな私が再びMacに燃えるようになったきっかけは、あるパソコン雑誌に載っていた、コンピューターのユーザーインターフェースに関する記事です。その記事の中で、私は「Dynabook」（今同じ名前の別のマシンが巷で話題になっているようですが）のコンセプトを考えたアラン・ケイのことや、ゼロックスの最初のワークステーションのこと、そしてアップル社が作っている新しい考え方のパソコンのことを知り、子供心に「すげーなー」と感動したわけです。そしてそれ以来、Macは私のあこがれだったのですが、「MACLIFE」が創刊されるや否や、私のその気持ちはさらに燃え上がりました、と言っても、私は自分で買えるわけなんか無かったのです。それでも私は決してあきらめませんでした。創刊号を買って帰って父に見せ、片っ端からカタログを集めては父に見せ、木津屋に通って杉村さんとお友達になり、Macを置いているパソコンショップを片っ端から物色(?)して、...と、悪らつ非道の限り(?)を尽くして少しでもMacに近づこう(と言うか、Macを近づけよう)と努力したのです。

最初は「金が無い」、「日本語環境が弱い」などと言って相手にしなかった父も、漢字Talk2.0がこの世に登場したとたんに息子のけなげな姿を理解したのか、「買おう!」と言う事になりました。そして、Macがついにうちにやってきた!というところで、私は一年間のアメリカ留学に出發することになりました。

留学したばかりの頃はMacに触れる機会がありませんでしたが、半年ほどして、私のホスト・ファミリーがついにMacを買いました。めでたし、めでたし。というわけで、私はまたまたMacとともに暮らすことが出来るようになったのです。

アメリカの高校では、日本の高校に比べて生徒が選択で



きる授業の科目の種類がたいへん多いこともあり、コンピューターがたくさん利用されています。種類別にいきますと、圧倒的に多いのはアップルIIで、これはどの教室にも一台はあって、先生方が成績処理やプリントづくりなどに利用しています。授業のほうでは、情報処理の授業では主としてアップルが、製図や美術の一部の授業などでMacが使われています。特に美術のほうでは、PageMakerを使ったDTPの科目もあつたりして、非常に驚きました。そんなわけで、私は、暇さえあれば美術科の職員室へ行って、遊んでいました。

一方、家では、もっぱらゲームで遊んでいましたが、各教科のレポートづくりにはMacとWriteNow、Wordが威力を発揮しました。実務(という程でもありませんが)にもきちんと使ってきたというわけです。そういえば、あと、美術の宿題のためにMacDrawを使ったこともありました。

私の家の近くには小さなパソコンショップがあったので、しょっちゅういきました。そこにはMacのファミリーが全部いたので、CD-ROMなんか楽しんできました。お店の人ともお友達になって、CD-ROMからたくさんのPDSをもらいました(そしてそのお礼に漢字Talk2.0を見せたら、ずいぶんびっくりしていました)。そして帰国も近づいた今年の6月、気がついてみたら、私は10枚入りの箱で7箱分ものフロッピーを買ってしまっていたのです。

さてさて、こんなにまで周囲の視線を恐れずにあることをしゃべりまくるこの私がいっただんな身分の者かといいますと、今盛岡市内の高校に通う多忙な高校生です。この原稿も、クラブとテストで忙しい、その合間をぬって書いているところです(このおかげで赤点なんかとったりしないことを願っているのですが)。普段は時間の都合でMacとはあまり遊べないけれど、それでも、やっぱり私は、Macが好きです。



自己紹介とお願い。

村川 壽

新米の開業医の村川です。

岩手医大時代には野村さん、菅野

さんには大変お世話になりました。今後ともお世話いただく予定です。宜しく。

現在、開業5ヶ月目で、時間的ともっと大事な経済的余裕（銀行を喜ばせる程）のない生活、つまり精神的ゆとりのない日々を強いられています。

盛岡を離れて早1年半、懐かしくはおもうものの、帰盛の時間はありません。時折、マック友の会からハガキをいただいても、喜びよりも嫉妬を感じるの曲がった私の性格だけではないようです。少し反省を試みれば、マックを通じて知り合った友情（恩情？）は身に染みます。縁も所縁もない千葉県柏市で開業し、三人の子供の父親である私は未だその日暮して我がマックIIに近づき、スピリチュアルな一時を過ごすことがルーチン化されません。私のマックはそれでも慈悲に溢

れ、何時でも帰っておいでと優しく微笑んでいるようです。私としてはもう少しの統計処理、英文抄録、日本語本文それに図や表も作成したいのです。出来ることは百も承知です。しかし、私の使命は新しく導入する東芝のレセコンの習熟、PCを使った帳簿づけ等であるため、不本意ながら、カバーを被ってもらっています。誰かマックによる帳簿作成を教えていただけませんか。DIはどのソフトが適当でしょうか。今、中止中の通信も専用回線を引くことも考えています。

皆様はただお願いしたいのは私を忘れないでおいで欲しいことです。今度は始める時は英語環境下で、日本語をローカルな言語としてやりたいと思いますので、皆様方、御協力の程をお願いいたします。

WHAT'S IN A NAME ?....

that makes one say, "I love you"?

--by Richard L. Lammers

After asking "What's in a name?" the Swiss writer-psychologist Tournier laments that "We attach too much importance to things and not enough to persons." When it comes to names of people or of things, some names are very precious to us and become a part of our daily life and conversations. The news keeps before us the names of world leaders like Bush, Gorbachev, Thatcher, Mitterand, Kaifu, and many others. Advertisements in our magazines and newspapers keep before us names of products known the world over, like Xerox, Sony, Mitsubishi, Aiwa, General Motors, Nissan, Toyota, Chrysler, IBM, NEC and of course, we can't forget Apple with its 'Mac'.

Those who read this will know that there is a lot in the name 'Mac'. In fact, some who use a 'Mac' word-processor-computer think of it as a person....a son (he), or a daughter (she). The relationship becomes such that "he/she" even tells the user when "he/she" thinks (or sometimes knows, better than the user) that a mistake has been made..."Sorry, cannot print ascommanded." Or there may be an apology when "he/she"

has committed a "system error" and "he/she" informs the user to "Restart".

It's like climbing a mountain and getting to within a few feet of the top and sliding down....all the way to the bottom....and having to start all over again. This is especially disappointing when one has forgotten to "save" what has taken two or three hours to perfect. At such a time one begins to think, "Maybe I should stop this relationship." But even when one feels that way I have to admit that I believe there is a lot in the name 'Mac' and in the end I follow the suggestion "he/she" gives to "Restart", with the shaky hope that the next time will be better. I end up saying "I love you, 'Mac'. You're great!"

But more important are Tournier's words that: "we attach too much importance to things and not enough to persons". Regardless of how much we love 'Mac' we need to remember to say "I love you" to the real people in our lives...grandmother, grandfather, mother, father, husband, wife, daughter, son, granddaughter, grandson, friend or fellow-worker. They are sacrificing much for us to have this 'affair' with 'Mac'.

Macintoshユーザーが盛岡に集まる会 Meet the Mac in Morioka 略して『MMM』が1989年9月16日(土) 18:00 から行なわれました。当初の予想参加者数30名を遥に越え、青森、秋田、岩手、宮城と東京から50名が集まりMacintoshユーザーの熱気で盛岡市菜園のSibudo-roomが熱くなりました。全国的に著名な方々や、同じ東北のMacintoshユーザーの皆さんとMacintoshの話でもりあがり、Macintosh II cxでのマルチメディアのデモンストレーションに感動し、テレホンカードやステッカーなど豪華景品配付会などで楽しく過ごしました。

野村会長の挨拶

予想参加人数を遥に上回ってびっくりしている。私はMacintosh Plusを648,000円の時代に購入し(後悔はしていない)、まわりにMacintoshを知っている人がいない状況で一人で格闘していた。通信ソフトのRedRyderを入手して通信に目覚め、その後、日経MIXと繋がり、通信のおかげで人間のネットワークが広がった。Macintoshのおかげでみんなが集まる。今日はApple Computer Japanの加藤さんもいらしゃるのでMacintoshの話で盛り上がりよう。(以上:要約)

桑原健郎さんの挨拶

Meet The Macを盛岡でやろうと話が出たときこんなに早く実現するとは思わなかった。Meet The Macの参加人数は1回目は80人、2回目は130人だった。「マイナーな機種ほどユーザーがパワーを持つ」というのは本当のようである。東北のMacintoshユーザーのパワーをぜひ日経MIXに注ぎ込むようお願いする。マック会議はメッセージが多いので会議の再編成を考えている。(以上:要約)

林伸夫さんの挨拶

マックの会議は通信時間が長いので日経MIXの稼ぎ頭である。私は自宅に3台のマックを持って繋いでいるし、MacEventというネットを主宰している。いつもはマッキントッシュウイドウの妻を今回は同伴している。でなければ盛岡に来ることが出来なかった。皆さんも奥さんをお大事に。

(以上:要約)

Meet the Mac in Morioka

特集



ゴ・キ・ゲ・ンな仲間達

■ 本誌でMeet the Macと言えば、初めてMacintoshに出会った感動について書くコーナーのことで、日経MIXというパソコン通信のMacintoshユーザーがオフラインで集まる会議(飲み会?)もMeet the Macといいます。今までは東京周辺で開催されていました。日経MIXとは日経BP社が行なっている有料のパソコン通信で、Macintoshのエキスパートが集まっています。

■ IMFの中で日経MIXにIDを持っている野村行憲さん(ynomura)が今年6月下旬、日経MIXのmac/specialという分科会で諏訪茂男さん(ssuwa)や桑原健郎さん(takero)等と意見交換して今回のMMM開催が決まりました。東北でMeet The Macをと言う話がでたとき開催地の一番候補に仙台が揚がっていましたが、秋田、青森、仙台の中心と言えば盛岡しかないという野村会長の説得工作で、みごと盛岡誘致に成功しました。

マック仲間が集まった!

17:30 会場の準備が完了した。受付には爽やか笑顔の美人受付嬢と、IMFの佐々木幸司さん、照井芳夫さんが立ち、その脇ではお客様をエスコートする会長、野村行憲さんの笑顔の準備も整っていた。

17:40 続々と参加者がエレベータで上がってくる。降りたホールが受付場所になっており会費の5,000円を払ってMMMの参加手続きが完了である。受付では林檎4号と盛岡の二次会マップとMMMの感想を書いてもらう原稿用紙を差し上げていた。

次は菅野卓也さんと、高橋晃さんによるネームタグの貼り付けである。正面だけでなく後からも名前を掛けやすいように胸と首のうしろの二ヶ所に貼った。

次はCanonのQ-PICというフロッピーカメラで参加者の顔写真を撮った。

奥の部屋にはMMMの目玉、マルチメディアのデモンストレーションのためにMacintosh IIcxとApple純正のCDDとモニタースピーカーが置かれてあった。開会までの間、参加者の目は

Macintosh IIcxに集まっていた。

18:00 開会予定時間であるが未だ来ていない方がいる。県外からの方はすでに揃っているのだが。

18:05 「林檎」の編集長、徳富亘さんが堂々と登場。

18:15 「林檎」の初代編集長、荒木健次さんがダイバックを肩に掛け飄々と登場。

18:20 いよいよMMMの開会。司会は白のスーツで決めた菅野卓也さん。野村会長の挨拶。Apple Computer Japanの加藤光彦さんの乾杯の音頭。日経MIXのマック会議の議長補佐 桑原健郎さん、日経パソコンの副編集長 林伸夫さんの挨拶を頂戴した。

その後歓談に移り、各グループの代表者の挨拶 加藤さんのマルチメディアのデモ VTR放映 (AppleのCMなど) 豪華景品抽選じゃんけん大会 全員での記念撮影 諏訪茂男さんの閉会の挨拶 と続き、21:00頃お開きになった。



マックのTシャツを着て挨拶する野村会長

お開きになっても皆さん会場を立ち去りがたく、予約無しで30人以上が2次会に繰り出すことになった。居酒屋の狭い座敷で、Macintoshや盛岡の話で再び盛り上がった。

2次会が終わって23:00。まだ去りがたく、居酒屋のあるビルの1階ホールで立ち話になる。

その後、話し足りない面々が喫茶店で3次会を開催、それから、ホテルのロビーで珈琲を前にまたまた盛り上がり、なかでも次の日の2:00過ぎまで熱心に交歓した方もいたそうである。

マックフリークの夜は長かった。早くも次回は温泉でデスマッチという声も挙がっている。(掲示板参照)

参加者の声 (MMMメッセージ)

諏訪茂男さん (東京)

野村さんをはじめとする岩手マック友の会の方々、どうもありがとうございました。野村さんとは昨年11月の日経MIXのMacの宴会でお会いしたのが最初で、その後、野村さんが上京され、ハードディスク関係の話でDr.kさんのところにいられたときに私も一緒に食事に行きまして、やりましょう、やりましょうと野村さんに強くプッシュしたのがきっかけで、このMMM実現の運びとなりました。MMMというのは野村さんが新宿御苑前の地下鉄の階段あたりで思いついた名前です。Meet the Mac in Moriokaとは本当に語呂のよいおしゃれな命名だと思いました。盛岡というか、東北ははじめてでしたのでうれしかったです。初秋の味覚を楽しむことができました。盛岡八幡宮のお祭りが終わるともう秋なんですね。会報「林檎」もいくつか見せていただきましたが、内容、体裁ともにすばらしく、驚きました。あとで、徳富さんが編集長と聞いて納得しました:-) これを機会にますますMacファンの輪が広がっていくことを願います。

林伸夫さん (東京)

〈林檎村ばんざーい〉 先日は、夫婦ともどもお邪魔しました。こんな機会でもない限り、一緒に旅行するなんてことできないだけに、盛岡ミーティングを勝手に利用させていただいた感じですが、マックに免じて許してください。出かける前は、雨の可能性高しという予報でしたが天気はいいし、空気はいいし、久しぶりの休日で大いに楽しませていただきました。ほんと、これもあれも、皆さんのおかげです。どうも有難うございましょう。ホヤも食べたし、ワンコソバも食べたし、帰りは繁温泉も満喫しましたし、もう思い残すことはありません。まあ、しかし、それにしてもほんとに皆さんの熱意には頭が下がる思いです。ただでさえ情報の少ないマックをとにかく皆さん、ご機嫌に活用し、可愛がっていらっしゃいますね。単に仕事の道具というより、岩手ならではのマック文化が生まれつつあるのを目の当たりにして、大感激でした。 林(haya)

MMMメッセージ (つづき)

新居雅行さん (東京) 東京からわざわざ参加したというよりも、私の場合は大阪から、はるばるやって来たのですから、なんというまあ物好きなど皆さんはお思いかもしれませんが、だけど、岩手マック友の会の皆さんとて、同じ穴のなんとか (!) ですね。ほんとうに楽しい一時を過ごさせていただきありがとうございました。東京のように人がたくさんいて、マックユーザがそれなりに (飲み友達には困らないほど!) いて、専門店もたくさんあるといいのですが、東京以外では専門店が少ないので大変みたいです。MMMの前に、1週間ほど大阪にいたのですが、大阪や京都の本屋でもあまりにもマック関連の本が少ないのが印象的でした。盛岡の街についての知識はそれほどないのですが、おそらく、大阪や京都に比べて本屋とかパソコンショップの規模なんかもっと小さいのでしょうか。それにもかかわらず、友の会のミーティングに50人からのメンバが集まり、クオリティの高い会報を発行するというパワーには頭が下がります。これまでは、マックに関する情報は、製品の値段やスペックといった単純で基礎的なことを知っているか知っていないかで判断されて来ました。ですが、さすがに近頃は雑誌がいくつもでき、海外では専門のニューズレターまであるのですから、その気になれば東京であろうと盛岡であろうと情報量では大差なくなってきていますね。けども大切なのはマスメディアに載らないような情報、例えばユーザとしてどんな使い方をしているのかなどが重要になってくるはず。つまり質を高めた情報の方が値打ちがあるわけです。その点からも、アクティブなユーザグループとしての友の会の皆さんはマック界 (ちょっといかめしい?!) の最先端を行っているのではないかな、と思いました。

石澤哲士さん (青森) 楽しい集いを有難うございました。岩手のユーザーの皆さんのパワーを目の前にして、少々圧倒されました。青森のユーザー会もこれから頑張りたいと思いますので、一緒にMac Lifeを盛り上げましょう。

大坂宏弥さん (青森) Macの力というものをを感じる会でした。

佐々木幸司さん (岩手) 1つのコンピュータのためにこれだけの人が集まってくるというのはいったい何なんだろう、という素朴な疑問の答えは、マックだからというしかないのでしょうか、それにしてもはるか盛岡まで皆さんがわざわざ来てくれるマックという存在にあらためて感激しています。特に、あれやこれや言われているAJに、加藤さんのような真摯な方がおられることに安心を覚えました。頑張ってください。

福田健次さん (岩手) 〈マックの奇人大集合〉 東北はおろか東京からも名にしおうマックの達人が集まるとあって、期待にはち切れそうになりながら参加した今回のMMMでした。実際にお会いするとどの方も、想像していたより若くて、個性に溢れた方々ばかりでした。そして何よりも我等が編集長のスピーチのユニークさは、IMFを遠来の客に印象づけたと思います。マックがなければ出会うこともなかった面々が、古い友達のように交流している有り様はマックならではのと思わされた嬉しい一夜でした。

大沼忠彦さん (宮城) 今回は楽しいMMMに参加させてもらい有難うございました。会場に入るといきなり、「写



じゃんけん大会でゲーに力が入る白石さん

真を取りますので。」と言われて、犯罪者の様に緊張して写真に写りました。頂戴した資料の岩手Mac友の会の会報を拝見して、大変立派であることに驚きました。第二会場(この呼び方がいいのかな)でのMacIIでのデモでCDドライブを使っているところを初めて見ました。AJの加藤さんによるとこれからはCDの時代がくるらしいので、CDドライブを買おうかなと思ってしまいました。でも198000円は高い。ポンとは買えない値段だ。

菅野 淳一さん (宮城) 何人かの方とお話しもさせていただきましたが、初対面とはいえすぐに話がはずむあたりは、マックのマイナー性をよく表しているなア、と思いました。Performerを使っている方もいましたし、MIDIに強い興味を持っ



「Film Printerは?」と熱心にAJの加藤さんに尋ねる佐藤さん

ている方が結構いらしたようでした。それから、岩手の方からは仙台のマック事情や、SHALOMEなどのBBS事情について、よく質問を受けましたが、岩手のマックユーザーって、結構人なつこくて良い人ばかりですね。

中川洋一さん(宮城) 我々、宮城勢も次回回りに!

福原修さん(宮城) ヤー、岩手Macの会の人たちは元気がありますね。それになんと女性会員が数人見えていたことも特筆ものです。会報やセミナーなんかも活発みたいですし、ほんとマケソ。私自身はMIXの会員ではないので、すこし肩身が狭いかなと予想していったのですが、そんなことは全然なくてじつにフランクな雰囲気でした。スピーチでだれかがマイナーな機種ほどユーザーの連帯がある、というようなことを言ってきましたが、Macがマイナーだなんてことはないのです。NTTの電話代が高いのでBBSがさほど自由でないのとAJがズボラだからそんな風に考えがちなんです。



みんなでMacintosh II cxをのぞきこんでのデモ

相田三郎さん(宮城) 一度会いたいと思っていて初めて会うことができた人たち—盛岡の野村さん、本多さん、秋田の武田さん、東京の諏訪さん、川村さん、AJの加藤さん。久しぶりに会えて嬉しかった人たち—盛岡の佐々木さん、白石さん、東京の桑原さん、新居さん、林さん。そして、MMMがあったからこそ言葉を交わす機会を持つことができた大勢の岩手の皆さんや、話ではできなかったけれど、あの素敵な時間を演出してくださったすべての人たち。林さんの口癖を借りるなら、「ごきげんな」イベントでした。マックに、マック・ユーザーに、あ・り・が・と・う!

川村渴真さん(東京) 岩手マック友の会を始めとする東北マックユーザーの皆さん、MMMでは楽しいひとときを過ごさせていただきましてありがとうございます。東北マックユーザーのアクティブな状況を目の当たりに見て、マックの凄さを改めて痛感しました。しかし凄いです。あの会報誌といい、MMMの開催といい、まさにアップルフリークですね。もっとたくさんの人とお話したかったのですが、昼間に盛岡見物をしたため若干疲労感がありました。今後もマックユーザーを増やして頑張ってください。参加記念に未発表のバッチ情報をお送りします。誰にでも役に立つというバッチ情報ではありませんが、もし使える方は役立ててください。内容はInterFaxの文字化けを直すバッチです。InterFaxというのは、マックに接続できるモデム内蔵のファックスです。今は4800bpsのファックスと1200bpsのモデムになりますが、近々9600bpsのファックスと2400bpsのモデムになる機種が出るようですから、これから購入される方はもう少し待った方がよさそうです。とにかくファックスした画像はムチャムチャきれいですよ。

さて文字化けですが、InterFax12/48というソフトで、送信記録などを表示する部分に現れます。バッチ当てにはFeditPlusを使い、まず次のようなバッチを当てます。

>修正前: 3F3C 0003 A887 (サーチ)

>修正後: 3F3C 0001 A887

これは複数カ所ありますから、すべて当ててください。それでも文字化けの直らない部分が残っていますから、次に以下のようなバッチを当てます。

>修正前: 7003 3140 0044 (サーチ)

>修正後: 7001 3140 0044

これも複数カ所あるので、すべて修正してください。これでバッチリのはずです。

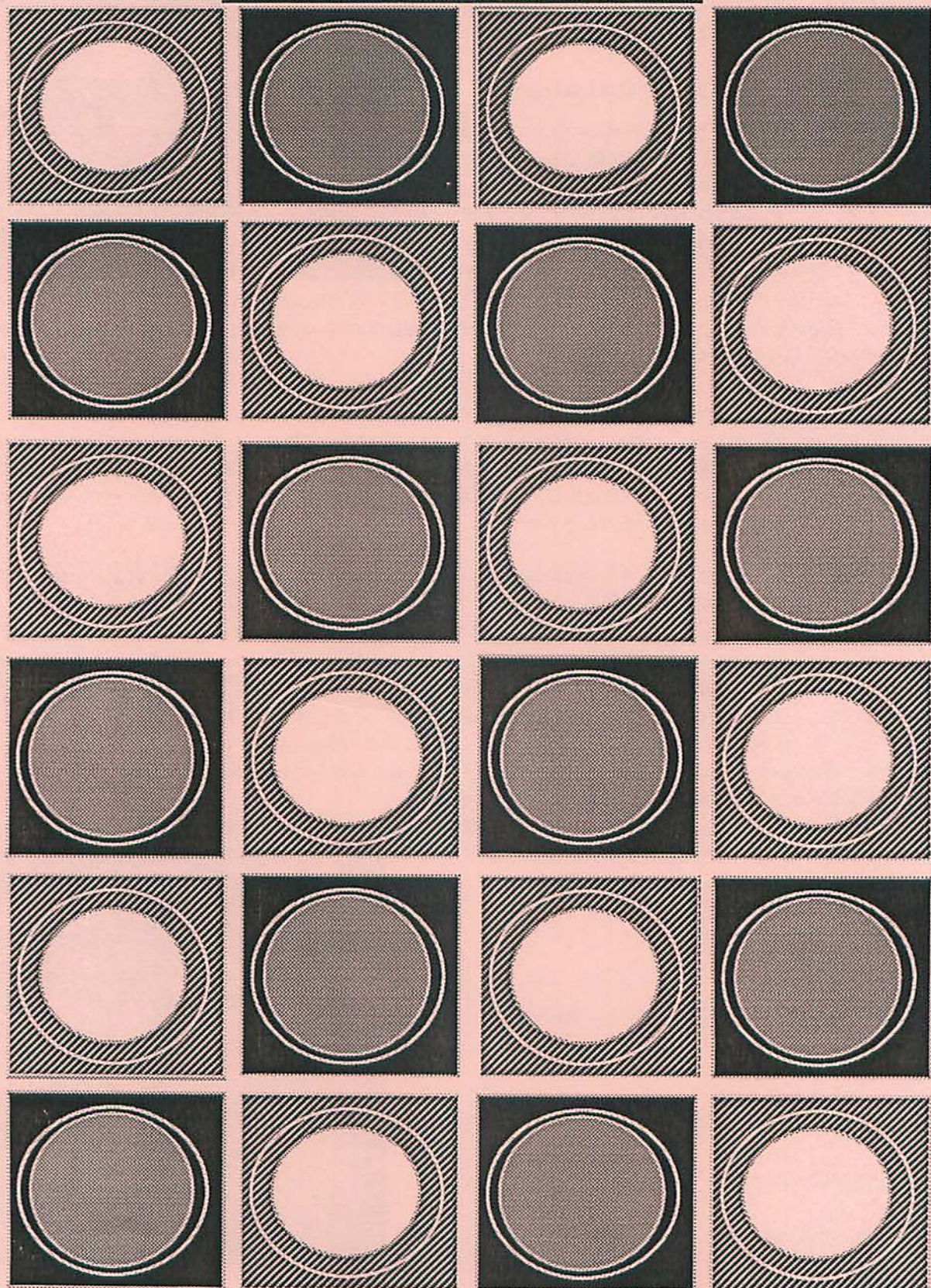
ではでは、今後ともアクティブに活動してください。
(さすらいの明るいバッチャー、川村渴真より)



マック会議議長補佐の桑原さん(右)と

参加された皆さん、メッセージをくださった皆さん、ご協力有難うございました。

Ringo Gallery



1989-9 MASAO-SEGAWA

前回は精神活動にテンプレートがあるというお話しをしました。

精神活動というと大袈裟ですから、ものの見方、感じ方、さらには考え方と言ったほうが解かりやすいでしょう。これらはほとんど無意識の反応ですから、意識的に押さえると、感じないようにしようなんてのも無駄な抵抗です。いい例が「はらの虫」。

よく「はらの虫が納まらない」なんて言いますネ。頭では分かるけど気持ちがすっきりしない状態。こういう時、胸のなかでは「面白くない。気に入らない。腹が立つ。嫌だ。ブツブツ..」とつぶやく声がしています。

はっきりと言葉にして何がどうだと言えないけれど、何かが違う。自分の中で納得できないものがある。はっきり意識化できないだけに、よけいにイライラする。

こういう声は大抵、公然と表に出せないことが多いわけです。ま、力関係によりますけど、弱い立場にあればあるほど言えません。男だったら飲みに行き行ってバーのママあたりに愚痴をこぼします。家庭の主婦ですとヤケ食いをします。子供にあたる。弱いほうへ弱いほうへとやつあたりの波が伝わって行きます。

ときには公然と反撃に出ることもあります。けれども、はらの虫が納まらないからだという素ぶりは微塵も見せません。言っている本人さえも気づいていません。大抵は理路整然と反論します。けれども、とどのつまりは「面白くない」と言っていることが多いのです。ご主人が奥様に小言を言うパターンのは半分はこれですネ。要は面白くない。

人が集まって議論が始まると、はらの虫とはらの虫が理論武装をしておつかり合います。陰の声を聞いてみると、「面白くない」「気に入らない」という意見が飛び交っているわけです。

この、はらの虫が騒ぎやすい人とそうでない人があるんですね。ことのほか腹を立てやすい人がいる。こういう方はその人なりの、ものの見方考え方がしっかりと確立されていて、大抵のことがこの方の基準と大幅に違う。

見るもの聞くものが不正、不当、常識はずれに見えてしまう。だからしょっちゅう腹が立ちます。

ラーメンのどんぶりにウェイトレスが指を突っ込んで持ってきたら、店員教育がなっていないと悲憤慷慨する。果てには金を払わないゾといって店主と喧嘩する。はらの虫は「俺をばかにするな」といって腹を立てているわけです。

こういう方は決して自分の感じ方がおかしいとは思っていません。むしろ世間の不正を糾弾している正義の使者ぐらゐの感覚でいます。

ま、このぐらい極端でなくても、どんな人でも自分の感じ方は絶対的に正しいと思っています。この暗黙の前提はどんな方にも共通している思いです。

この前提、言い換えると心の型紙つまりテンプレート

は、前回お話ししたように基本的には家庭環境のなかでご両親から受け継いでくるわけですが、多層構造になっています。

一番表面には価値観のレイヤーがあります。二番目には善悪。三番目に好嫌。四番目に快苦。つまり自分にとって苦しいことは嫌で、悪いことで、価値のないこと。自分にとって快適なことは大好きで善いこと、そして価値のあること。

こういうとフムフム当たり前じゃないかと皆いいますが、自分に自覚できるレイヤーは価値観、善悪あたりなんですネ。このあたりは思想とか道徳観ですから、公然と言って憚らない市民権を持った物差しなんです。その陰には結局好嫌、快苦がベースになっているとは誰も思わないのです。

このレイヤーは、成長の過程で身に付ける順序なんですネ。生まれ立ての赤ちゃんは快苦が人生の全てです。快は生存につながり、苦は死につながる。快を選択し続けることが生きることだったわけです。長じるに従って意志を表現するようになると、好き！嫌い！。

社会生活を始めるあたりになるとこれでは通用しなくなりますから、良いこと悪いことという外からの基準と、自分の好悪を妥協しながら適応させて行く。ちょうど学校に入り始めるあたりからです。青年期に入ると社会に通用する価値観を身に付けて行く。

この道徳観なり価値観を取捨選択する基準が、実は快苦なんですネ。最初は唯一無二の庇護者である両親に受け入れられるように、親の考え方を選んで行く。親に見離されるのは死を意味します。後には社会に受け入れられるように選択します。これも受け入れられなければ大きな意味で死につながります。こういう仕組みが、テンプレートを環境から受け継ぐ仕組みなんですネ。

はらの虫はこの快苦に根ざしています。いっばしの大人を自覚している我々は普段から抑圧している部分です。でも一旦、自分の安寧を脅かされそうになると、ムクムクと起き上がってくるわけです。

腹を立てやすい人は、この快苦の許容量が小さな人です。見えがかりは、気の強い、いつも何かに噛みついてる人に見えますが、内実は常に安全を脅かされている不安で一杯の人です。

自説を絶対に曲げたくない人がいます。こういう方は、自分の価値観を反故にするのは、物凄く苦痛になります。肉体的な苦というよりは、肉体を離れて構築された自我の存亡にかかわる苦です。

現実との接点を無くしかけている人間にとって肉体の生死と同等の苦痛です。

こんなことがわかってくると貴方が苦手な理論家や激情型の人達をまた違った目でウォッチングする楽しみが増えるというものです。

初めまして！私は農学部の出身で現在は岩手医大で助手として働いています。Macは研究の手助けにと思って買いました。

1～3回の諸先輩はすごりっぱにMacを使いこなしていらっしゃる方々でしたが、今回は残念ながらまったくのビギナーです。

「私の」MacLifeは、バクダン・マークとの闘いであり、「あら、またシステムがこわれちゃったわ！」とさわぐので、同じ研究室の人たちには、Macとは30分おきにバクダン・マークを出すそんでもない機械だ、と思われるみたい。

ごめんなさいね！

そもそもこんな私がMacPlusを購入することにしたのも、私にパソコンの知識が欠如していたためです。

学会の講演要旨の作成に苦勞したので、ワープロかパソコンの購入を決意、はじめはNECか、エプソンの互換機を買おうとカタログ集めをしました。そしたら、98ユーザーの同僚が、「パソコン買うんなら、ハード・ディスクも一緒に買った方がいいよ。」とおっしゃる。で、「HDってなあに？」というところからはじまって、「どれを買えばいいの？」とたずねると、いろんなのがあるという。雑誌のリストを見せてくれたんですが、なにがなんだかさっぱりわからない。インストールとかのしかたも難しいという。そこへあらわれた岩手科学社の村上さんが、

「Macは簡単ですよ。」と一言。

それで私はMacってバカチョン・カメラみたいなパソコンなのかなあーと想像してしまったのです。

最初は「マウスって口のこと？」（情報取入口かと思った）とか、「ドラッグって何の薬？」とかいうのからはじまって、私の周囲の人たちはずいぶんトンチンカンな質問に悩まされてきたと思います。バクダンが出たり、どうしていいか分からなくなる度に大騒ぎする私をガマンして下さった村上さんや香城先生初めMacUserの方々はみなgentlemanだと思います。

それに、操作もむずかしい。たとえばフロッピー・ディスクの中身をハード・ディスクにうつす時も、ただアイコンをひっぱってきて入れればいい時と、リソースインストーラとかいうのを使う時と、Font/DAmoverを使うときの3種類もあるとはなんとややこしいことでしょう！私のおツムの許容量を超えています。

勉強しなくちゃいけないことが、ずいぶん多いと思います。

実際、仕事の能率をアップさせようとMacを買ったのに、Macそのものの使いかたの習得や関連書籍の読解に関心が向いてしまい、現実にはMacの購入後、私の仕事の能率は、むしろ落ちてしまいました。

私だって、「Macをこんなに活用しています！」とカッコよく胸をはりたいところですが、（まさかテトリスと上海だけのユーザーだなんて、恥ずかしくて言えないじゃありませんか！）Macに何ができて何ができないのか、

まだよくわかりません。

そこで、こんなことがやりたいなどと漠然と考えていることを申し上げ、先輩諸姉兄のお教を乞いたいと思います。

私の専攻は形態学（神経解剖学）であり、扱うデータは数字よりむしろ画像（顕微鏡写真）が主です。

(1) そこでひとつやりたいのは、写真の中の不規則な形の図形の面積などを求めることです。

たとえば

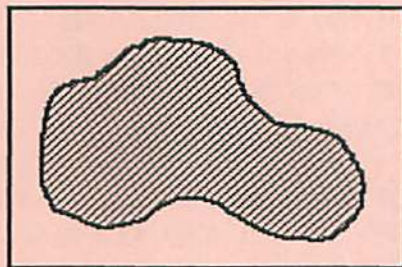


図.1

上図の塗りつぶした部分の面積の、長方形の面積に対する比率、など。

写真をScannerでMacの中にとりこみ、しかるべきソフトなどを使ってなんとかすれば、こういうことはできるでしょうか？

どなたかお教え下さい。

(2) もうひとつは、連続して少しずつ変化していく何枚もの平面図を再構成して、ひとつの3次元的な透視図をつくることです。

たとえば、図.2は、現在私がやっている、脊髄の実験モデルです。塗りつぶした部分（損傷部位）が、少しずつ、連続的に変化しています。この損傷部位の広がりや、多数の平面図から再構築して、ひとつの立体図として3次元的にとらえたいのです。（照井さんに「つまりタクアンの輪切りからタクアンの作りたのね」と言われました。全くそのとおりです。）

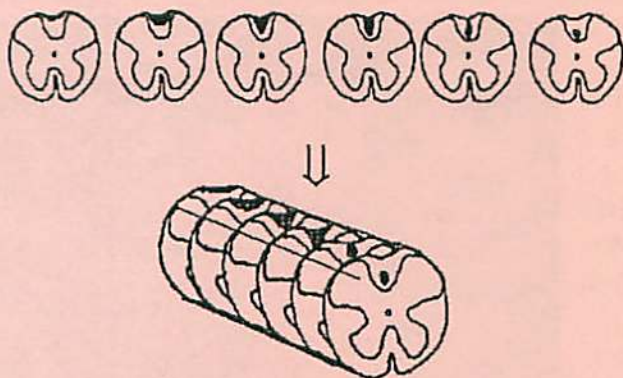


図.2

(3) また、こうして作成した図形を回転したり、斜め上や横からみたりする（視点の位置を変える）ことができればいいな、と思います。（図.3 参照）

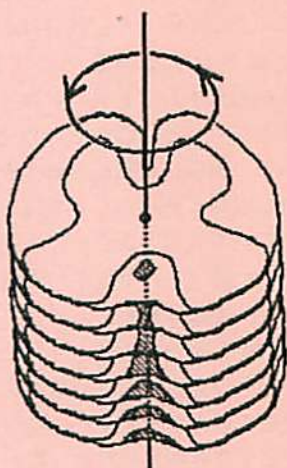


図.3

(4) また、図.4のように、ひとつの図形を上、下、側面からみた展開図があるとき、これを組み立てて3次元の透視図はつくれないか、（つくることがコンピューターがやってくれないかしら）と思います。

なにかの雑誌で関数の式をMacにインプットし、立体的な図形を描かせているのを見た覚えがあるんですが、式でなく図形から図形を組み立てることはできないものでしょうか？

ご存じの方、是非お教え下さい。

(1) ~ (4) のうち、少なくとも (1) と (2) は、岩手医大の中央電顕室にある画像解析装置をつかえばできるようです。しかし手元にある「私の」Macが使用可能であれば、作業能率は飛躍的に向上すると思います。また、こういう作業をしているあいだに、いろいろ新しい実験のアイデアが浮かんできそうな気がします。ですから是非やってみたいのです。

~~~~~

Macで今までに実際に使ったのは、日本語のワープロとしてと、ポイント・ソフトやハイパー・カードで絵を描くことです。

ワープロとしては、あまりにも使いにくいので、ほとんど驚倒してしまいました。

反対に、絵や図を描くのは、あまりに簡単なので、びっくりしました。ほんとに楽しい。

日本語エクセルも使えるようになりたいと、津田宏著「はじめてのMacintosh [2] エクセル編」BNNを購入しました。この本の160ページに紹介されている Stepping Out II が欲しいのですが、どこへ行けば手に入るのでしょうか？

これもご存じの方お教えください。

~~~~~

Macを使っていると「ほんとにMac

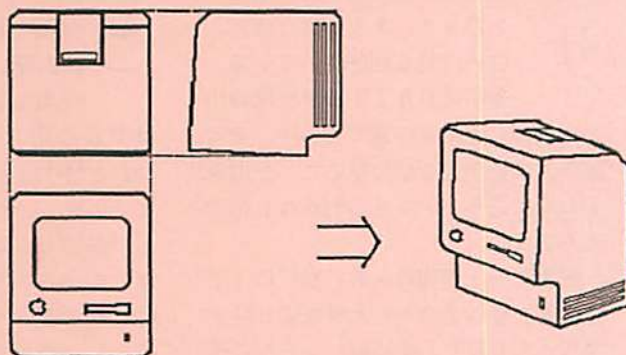


図.4

って気がきかないんだから！少しはこちらの気持ちも推測してくれたってよさそうなものに！」とやつあたりもしばしばです。（パソコンに「気がきく」ことを期待する方が間違っている、と笑わないで下さい。私は、コンピューターっていうのは、おそろしく聡明な機械かと思っていたんです。）

私の同僚によると、「パソコンはなんでもやってくれるとってもかしこい機械だ」という誤解を乗り越えられるかどうかで、その人の、その後のパソコン人生が決まるんだそうです。乗り越えられないと、そのパソコンは高価なファミコンと化し、乗り越えれば、その人自身がパソコン・フリーク（狂）への道をまっしぐらにかけのぼる（かけおちる？）んだそうです。

さて私のMac Lifeは、これからどちらの道へすすむのでしょうか？

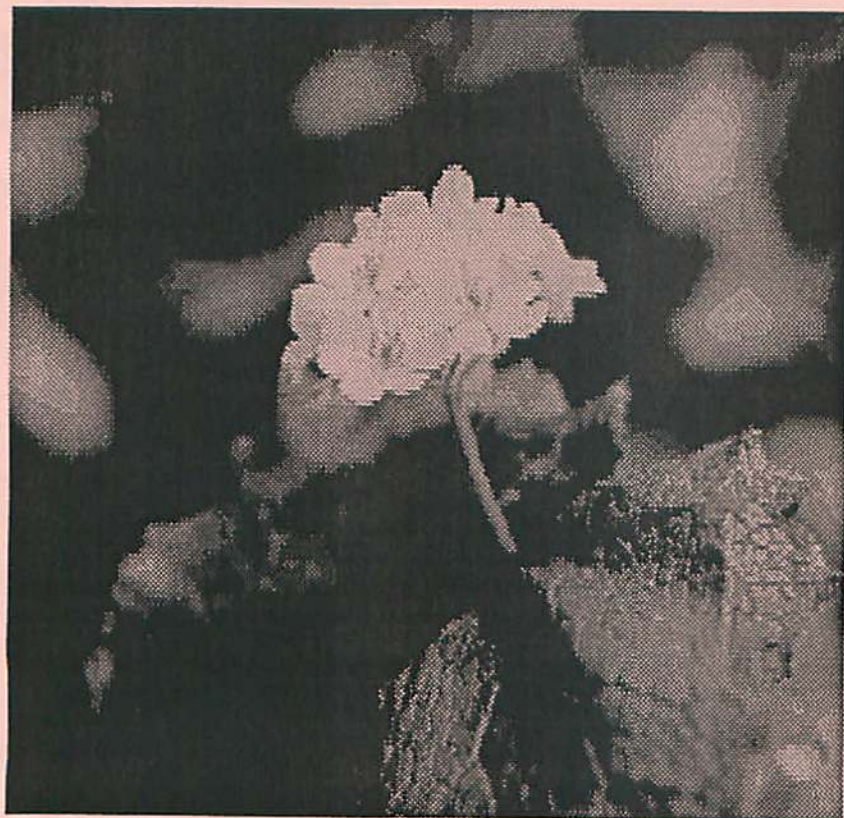
(終)

追記：9月16日のMeet the Mac in Moriokaでおめにかかった武田勤さん（秋田の方）がSwivel 3Dというソフトを使えば、この(1)~(4)のうちの一部は可能であろう、と教えて下さいました。（ただしMac Plusではかかなりむずかしいかもしれないとのこと。）

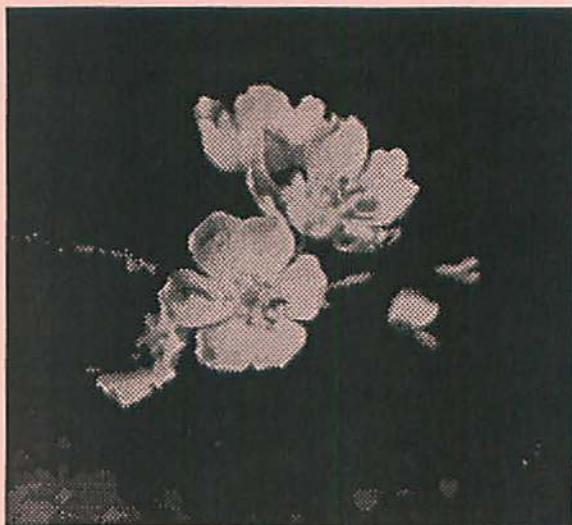
ありがとうございました。

サ
ンカヨウ。大きな葉っぱに、
白い清楚な花が咲いている。
今年6月11日早池峰の山
開きの日に薬師岳の麓で見つけ、その
後7月に秋田駒ヶ岳で見ることが出来
ました。見るといつも心引かれる花で
あります。

前川文夫「植物の名前の話」に「下
に大きな葉は前後から大きな切れ目が
採り込んでおり、縁に鋭い小刻みこそ
あるが、葉の真ん中に柄のついた有様
はまさにハスの葉である。たまにその
へりにほとんど刻みのないのが生えて
いてマルバサンカヨウというが、いっ
そうハスの葉に近い。ハスは池に生え
るが、こちらは山に生える。そこでな
ずけてヤマ（山）+ハスの葉（荷葉）
で、これを音読みして漢名風にしたの
は江戸時代の本草家の好みであるが、
きれいでしかも写実性にも富む名であ
る」としてサンカヨウは山に生えてい
るハスの意であります。そう言われて
みるとハスの花に似ています。仏像は
大抵ハスの上に座っているので、これ
に似ているサンカヨウも何となく有り
難く感じてきます。



この花を教えてく
れた時、私の花
の先生は、「義
母がこの花が大好きで
ね」と付け加えた。その
約一年後に、その義母さ
んが急逝し、香典の礼
状にこの花の写真を同
封したのをみて、「す
ばらしい親孝行だな」
と思いました。それ以
来この花を見る度にそ
のことが思い出されま
す。親孝行と言えば、
私の亡父がある会報に



投稿したのが何編か有り、これをまと
めて一冊の本にして孫どもに配ろうと
思って、3年前にEG-Bookで少し書き
写したのですが、さっぱり進まずに今
日にいたっています。内容は山城新伍
の父親と大学で同級で、母親から
「白馬童子」でテレビに出ているの
でよろしく」と、亡くなった父親にか
わって、挨拶状が郵送されてきた。そ
の後しばらくたってTVで見たとき貫
禄がついて父親と瓜二つの容貌にな
って驚いた話（そばで見ていた私の母に
よると、実際は喜劇であるにもかかわらず
白衣を着た新伍があまりに父親に
似ていたので、死んだ同級生をしのん
で涙していたようです）。自分の名付
親がどうやら明治の百姓一揆の首謀者
の一人（元校長）で、北海道に逃げて
きて、牧場で働いて身を隠していた人
らしいと、新聞の秩父事件顛末の記事
から推理した話など結構面白い内容で
す。学生時代を京都で過ごした父は、
文学青年でもあったらしく文章を書く
のが好きだったようです。残された会
報は誤植が多く、父の手で校正がされ
ており、これを見ると一冊にまとめて
やらなくてはと思います。このまま印
刷屋さんに出したほうが速いと思いま
したが、せめてMacで下刷りまで仕
上げなければ親不孝の償いにならない
と思っています。



ウラジロヨウラク



「パンドラの箱」

前回までは私とマックの付き合いを、マックと日本語環境の進化を絡めながら話ししてきましたが、今回書き始めるに当たって「シリーズものとして追いかけて行くと、これはちっとも”気ままなコラム”ではないではないか？」と云う考えが私の頭の中を駆け巡りました。と同時に、何処か遠いところから（天の声か、背後霊か、はたまた徳富編集長か？それは定かではありませんが）「そうそう、そんな内容ばかりでページを埋めようとしていると読者に飽きられてボイされちゃうぞ！何しろマックとそれを取り巻く環境はトレンドーなんだからな」という恐ろしい響きを伴った声が伝わって来たのです。私は落雷を直接身体に受けたかの様にその場にひれ伏してしまいました。（おおげさかな？...徳富編集長の怒りの顔が浮かんで来た。ヒ～！！）

そこで、決して悟る事のないであろう私ではありますが、今回から少々違う方向で執筆しようかと考えました。しかし、今までの経緯を総て投げ出してしまうのも余りにも無責任に過ぎる...という最低限の私の良識により、今回はシリーズとして書きたかった事をサマライズしてお届けしたいと思います。（実は読者も一安心に違いないのだ！！）

私のアップルに対する憧憬や極めて鮮烈であったマックとの出会いについては既に書きました。マックとの出会いから現在に至るまで（足掛け4年程になるのでしょうか）実に多くの様々な経験をする事が出来ました。これは無論、私が仕事でマックを堂々と使用できる環境にあったという幸運もありましたが、やはり基本的にはこれだけの年月を飽きさせる事なく進化し続けるに十二分だった設計思想の確かさが鍵になっている様に思います。致命的な欠点をどうしてもあげねばならないとしたらそれは、「基本的な設計思想が“本来の意味でパーソナルなコンピューター”を目指した」事と「OSのバージョンアップが繁雑にすぎた」事かもしれません。パーソナルな路線を目指したコンピューターとして世に登場したマックを本格的にビジネスで使用してゆくというのは最初から大きな矛盾だらけの渦の中に自分を投入するようなもので、（民生用の機械を使用してお金をとる業務を行な

う様なもの）そう考えれば、これまで自分が経験した様々な苦勞も納得出来るものだと思います。例えば、日本語を走らせるには、何よりもメモリーが基本的なOSに比較して小さすぎた事。漢字やカタカナ、そしてひらがな、といった繊細な文字を美しく種々のフォントとして自由自在に出力するにはグラフィックスの解像度が追いつかない事。（これは日本でのマックの使用が考えられていない以上、欠点ではないのかも知れませんが。フォントの問題は出力形態にレーザーライターを使用し、サポート役のポストスクリプト言語の登場により解決に向けて大きく前進しましたが、画面出力上の問題は依然として残っています。マックがデスクトップパブリッシングでビジネスの分野に踊り出た事は記憶に新しいと思いますが、この分野こそフォントの問題は絶対的に重要なのです。最近はこの点を含めて明らかにマックの基本思想である“*What you see is what you get*”が崩れ始めていると思われる。）私はこうした問題を一時はマックを離れ、リサを使用することで乗り切ろうとしました。しかし、それでも総てが順調に進んだ訳では勿論ありません。純正のパーツとえ入手が難しかった国内で、2メガ分のメモリーボード（AST Reserch社製）を入手する事は不可能に近い事でした。BBSで知り合った米国の友人に購入して送って貰ったり、その対処の多くは賭博的な苦勞の連続でしたが、何よりもリサはマックワークスというエミュレーターの上でマックのOSを動かしており、（この事で私は「ファインダーもアプリケーションの1つなのだ」という認識が持てましたが）非常にバグが多かったのです。（今考えるとそれは当然の事です。何しろ、非常に不完全なバグの多いOSが2つ、親亀に子亀が乗るように共存していたのですから。リサはリサ本来のOSが日本語化されなかった事が実に悲劇でした。コンセプトとしては、非常に高級で、品良く、素晴らしいマシンだったと思います。）

私はマックを個人で購入し、極くパーソナルに使用を開始して、仕事を展開する為のツールとして臨むようになり、苦勞を背負い込んでもし

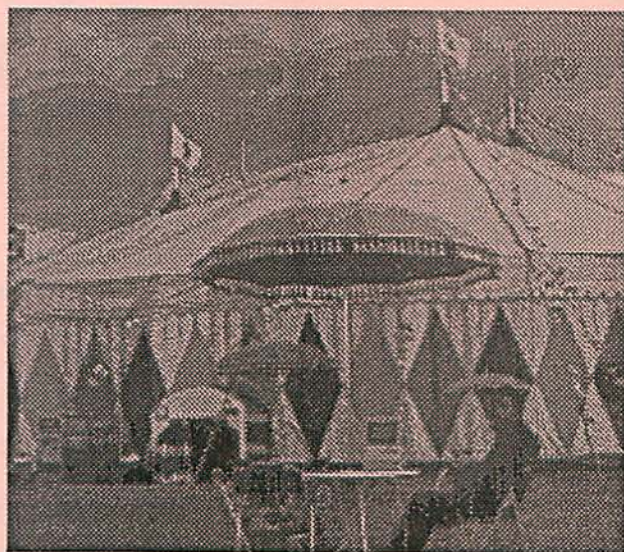
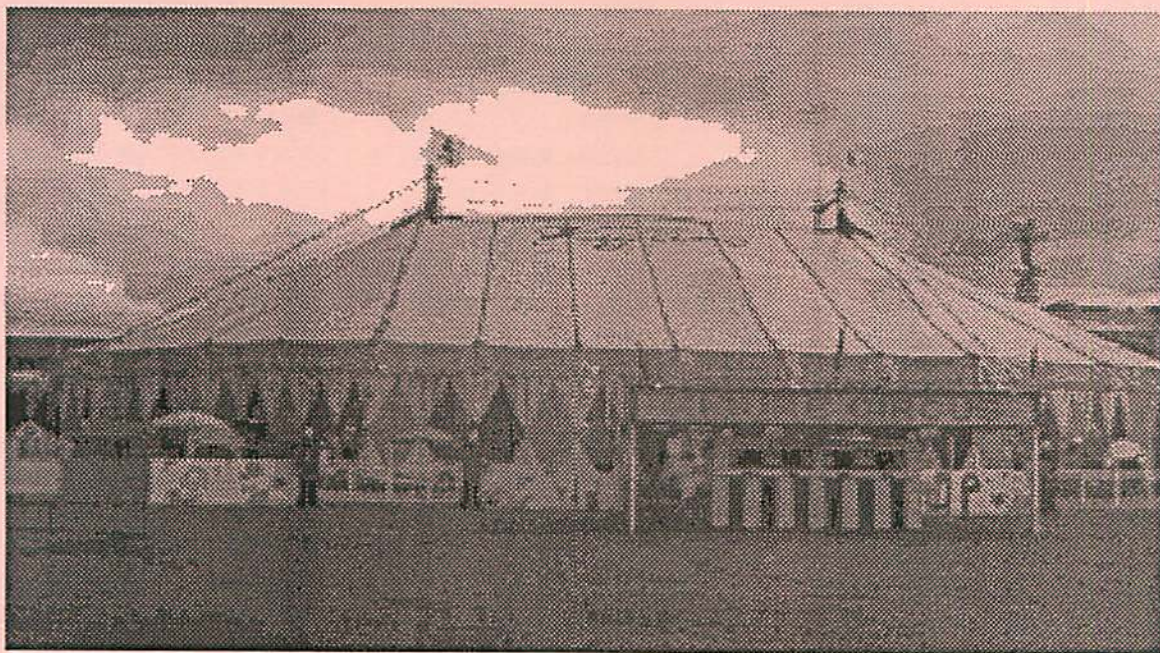
がみついて使用してきた訳ですが、こうした原動力になっていたのは一体なんだったのだろうか...と最近になって考える事があります。そして考えた結論として出てくる答えはただ一つ「希望」という単語に集約されるように思っています。マックの持つ素晴らしいインターフェースがオペレーターに与える希望なのです。「こうしたら、こうなるのではないか?」、「これがこうだから、こうではないか?」という私の疑問に対して、過去から現在までマックは殆ど100%近い満足度で回答を与えてくれており、それはそのままコンピューターや自分自身に課せられた仕事の質の向上に限りない「希望」を与えてくれています。

マックは基本的にオープンアーキテクチャーになっておらず、それはそれなりに必要であった事とはいえ、普及と云う観点からするとやはり不幸であったと云わざるを得ません。しかし、それでも米国本国のハッカー（非常に広義の）達を含むサードパーティーの人々は次々にマックを高性能に、そして便利に変身させる製品を送り出しました。この事実はいかにマックの持つインターフェースが希望と、期待させる何か(Something)を持っていたか、について如実に表現していると思います。こうしたパワーがその後、SEやIIというオープンな環境を創り出す原動力となったと云って差し支えないとすら感じます。

こうしてプライベートにビジネスにとその使用環境に幅を持ち、いよいよ希望だらけになってきた感の強いマックではありますが、（その証拠に最近やっとマックをまともに扱うショップが増えてきましたものね!）しかし、アップトゥーデートが激しいこの世界のこと、一寸先は闇と同じで、今までの苦勞など何にも評価されない可能性が高い危険も伴っています。そんな混沌とした環境の中、次回は「近い将来、自分自身がどの様なコンピューター環境に浸っているか?そこにマックは存在するか?」についてお話ししたいと考えています。Coming Next, I will talking about "NeXT"!



KIGURE CIRCUS と Mac が
盛岡 にやってきた!



Macとともに全国を駆け廻る
高田俊考さん



これまでのパソコンネット紹介は、日経MIXやNIFTYなどの大手サービスの紹介でしたが、今回は友の会の連絡用盛岡市BBSの再紹介です。

このBBSは、友の会ができるのは半年前の昭和62年の12月に開局した盛岡市役所主催のサービスです。役所の主催というと固苦しいイメージがありますが、もう少し役所らしい固い運営をした方が良く思われるような結構いいかげんなものです。(これは運営者の私が言っているので間違いありません。)このBBSを友の会が利用するようになったのには、さして深い理由はありません。たまたま、このBBSの開局を会長の野村さんに手伝って貰ったことと、たまたま市役所で実験的に購入したMac Plusを私が私物化していたこともあって、野村さんに友の会を作る画策を手伝わされてしまい、野村さん、中島さん、福田さんはじめごく少数の利用者だったメニューの1つ「Macin Talk」を友の会の連絡や情報交換にも使おうということに、ごく自然になっていきました。

それが今では他のメニューを大きく引き離して、断崖の利用率を誇るものになっています。(運営者としては、もう1つ2つ友の会のような利用をしてもらえる団体利用者が欲しいところなのですが、でも、サポートが悪いかからな、と反省。)

まだ、利用されていない会員の皆さんに、是非、利用していただきたいとの願いをこめての紹介です。友の会としても、全部の会員に利用していただけると今回のMMMの開催などの緊急の連絡も非常に楽になるという思惑もあります。

1つめは、最新の情報がどこからともなく入ってくるという面を。

◎ 7: 90MAC015 89.09.25 18:45 *
マッキントシュIIci *

先日、中島先生から、詳しい情報をいただきましたので、一部転載いたします。ポータブルとIIciとあったのですが、全部出すと長くなるものです

から、取り急ぎIIciの方だけ転載させていただきます。資料のご提供ありがとうございました。

このマッキントシュIIciは、従来アップル社が開発したマッキントシュのなかでも最高の性能を備えています。マッキントシュIIcxに比べて、全体で55パーセント性能アップしています。マッキントシュIIcxと同様のシステム構築の柔軟性に加えて、内蔵ビデオカード機能を備えています。

「マッキントシュIIciの登場は本当にパワーを持ったシステム、つまり常にユーザのニーズに迅速・的確に応え続けることができるシステムを実現しました。これは単に処理能力の向上というだけではなく、ハードウェア、ソフトウェア、そしてヒューマンインターフェースがバランスよく統合されることを意味します。」アップルプロダクツ社長、ジャンルイ・ガセーは以上のように語っています。

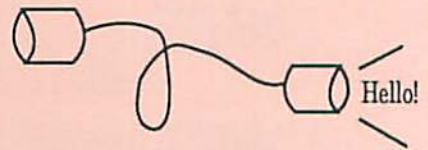
より速いマイクロプロセッサと、バランスのとれたシステム構成を実現。マッキントシュIIciは、従来のどのマッキントシュよりも速い演算、書式整形、拡大、スキャンニング、検索、サイズ設定、スクロールそしてドローイングが可能です。さらにキャッシュカードをコネクタに装着することによって、システム全体の機能アップが可能です。

●32ビットプロセッサ、MC68030、68882浮動小数点演算コプロセッサが25MHzで動作。

68030と68882浮動小数点演算コプロセッサによって、対数や三角関数を含む複雑な数値演算も高速で処理できます。(マッキントシュIIcxの場合、クロックスピードは16MHz)

●バーストモードRAMアクセス68030のバーストモードRAMアクセス機能によって、従来のシステム構成よりも効率的にメモリの内容を読み込むことができます。そのためにより少ないクロックサイクルで命令を実行することができ、全体的なパフォーマンスが向上します。

BBS NOW!



●高速RAM25MHzで動作する68030マイクロプロセッサをサポートするために、マッキントシュIIciでは80ナノ秒の高速なアクセスタイムを持つRAMチップが用意されています。またROMの中のコードは68030の命令キャッシュを生かした設計です。

●RAMキャッシュコネクタ内蔵のキャッシュコネクタに高速キャッシュメモリカードを装着することによって、最も新しいデータや命令を高速のキャッシュメモリに保存し、メインメモリへのアクセス回数を減少させ、総合的なシステムの性能を、システム構成や用途によっては最大30パーセント向上させます。(全体的には、マッキントシュIIcxに比べて75パーセント向上)1990年初旬にはRAMキャッシュを発表する予定です。

●ビデオ機能の内蔵NuBus拡張スロットにビデオカードを装着することなくモニタを接続できます。256色または256階調までのグレイスケールで640×480ピクセルの表示(アップルカラーモニタやモノクロモニタ)や、16階調までの640×870ピクセルの表示(アップルフルページディスプレイ)が可能です。ユーザは単に外部ビデオポートにケーブルを接続するだけでビデオモニタをセットアップできます。

<その他の特徴>

●512KROMこの512KROMは、内蔵のビデオボード、バーストモードRAMアクセス、キャッシュメモリカード、そして32ビットのアドレッシング機能をサポートします。次期オペレーティングシステム、システム7.0ではマッキントシュIIciは4ギガバイト(40億バイト)のアドレス空間をサポートします。グラフィックスカードの追加によって、1600万色を同時に表示で

友の会々員の 友の会々員による 友の会々員のための 自由に使えるBBS

きる32ビットクイックドロワーのサポートもこのROMには含まれています。

●デザイン

マッキントシユIIcxと同様に、このマッキントシユIIciも柔軟なシステム構成の可能なデザインを採用しています。縦横自在に置くことのできる、設置面積の小さな形状で、オートリスタート機能も採用されています。また動作ノイズの小さなことも特徴です。

●etc.マッキントシユIIcxと同様に3つのNuBus拡張スロットを内蔵。メインメモリは1MBから8MB（最高で32MBまで拡張可）。ステレオサウンド機能、SuperDriveおよびオプションで内蔵ハードディスク（3.5インチ40または80MB）。マッキントシユIIcxからマッキントシユIIciへのアップグレードは現在計画中です。

日本での発売についてアップルコンピュータジャパン（株）では、本日発表の製品を今年11月より発売/出荷いたします。また本日（9月21日）より正規販売代理店にて予約注文の受付を開始いたします。

以上、前略、後略で中島先生からの資料をもとに、徳富がお知らせいたしました。

2つめは、Macの使い方を教えてもらえるという面を。

◎331: 90MAC016 89.05.13 20:00 教えて！

今日、知人のところのレーザーライターII SCを借りに行きましたが、自分のシステムには行っているフォントを使いたかったので、自分のMacにSCのドライバーをいれてMacを担いで行きました。自分のMacで印刷したかっ

たのですが、chooserでSCを選択しても、どんなことをやってもSCを動かすことが出来ませんでした。page-setupも出来ません。LW-II SCでプリントするには何か変わったことをしなければいけないのでしょうか？

P.S.先日の例会は皆さんお疲れ様でした。いただいてきたスタックで楽しんでいます。HyperCardって素晴らしいですね。 香城

◎330: 90MAC025 89.05.13 23:06 LaserWriter-II SCは・・・

香城さんへ LW II SCで印刷をするときに特別な操作は必要ないと思いますが・・・私の職場では、ドライバーを選択するだけで大丈夫でした。色々やってみられたとのことですが、SCSIの番号も確認されましたか？もしハードディスクの番号と同じだと、起動しないと思います。

ところで、「いけないスタック」はいかがでしたか？実はNo.2というのがありまして、本日入手しました。今度のは「楽しい」アドベンチャーゲームです。次回の例会をお楽しみに！ 本多

◎329: 90MAC015 89.05.14 07:06 LaserPrepはどうですか。

LaserWriterだけでなく、Laser Prepもシステムホルダーの中に入っていましたか。NTXの場合はLaserWriterとLaserPrepの両方がないと駄目なのですが、SCの場合も必要なものではないでしょうか。でもその場合は「LaserPrepがありません」などのメッセージが出るような気もするので、違っているかもしれません。本多さんのところではどうですか。

いけないスタックは難しく、彼女が目さまじちゃうと先に進めなくなってしまう。真っ暗なところに指のアイコンだけが見えるようになり、あちこちクリックしたりしていると「しつこすぎます」とか言われてGameOverになってしまいます。あの真っ暗は停電か何かの想定なのだと思いますが、なかなか情けない状況の徳富でした。

3つめは、もちろん友の会の連絡が

◎79: 90NOMURA 89.08.16 16:57 Meet the Mac in Morioka 会場決定

Meet the Mac in Moriokaの会場が決定しました。皆さんには往復葉書で参加のご案内を差し上げますので参加表明をお願いします。

日時：9月16日（土）'89、18:00から
会費：5千円

会場：Sibudo-room

「しぶど」と読みます。

盛岡市菜園1丁目5-10Sibudoの4階
電話：(0196) 22-1118

----- 略 -----

さて、それでは通信を始めるのに何が重要かということですが、まずモデムを手に入れて下さい。木津屋の杉村さんにお問い合わせするとケーブルとPDSの通信ソフト込みのものが2万数千円程度で購入できると思います。通信ソフトには、福田さんがHyper Cardで作成された専用のスタックもあります。（このスタックの開発過程は、涙なくしては語ることはできないものです。数回にわたるバージョンアップのいきさつも、MACINTALKに詳しくレポートされていますよ。）これを使うと初心者の方でもすぐに通信できます。

盛岡BBSへの入会は、氏名、生年月日、性別、住所、電話番号、勤務先、使用するパスワード（半角文字で15文字以内）を記入の上、盛岡市内丸12-2 盛岡市企画調査課あて手紙等で送っていただくか、ゲストの会員番号でアクセスすると表示されるオンラインでの会員申込方法をご利用下さい。

電話番号は、0196-25-8044、スピードは1200bps、ゲスト会員番号は「00GST001」、パスワードは「AA」です。

「うーん、さっぱり何のことやらわからん。」という方は友の会例会などで聞いていただくしかありません。

それでは、会員の皆さんの全員加入を願って、担当は佐々木でした。



余計なお世話 ...by 野村行憲

以外に便利な計算機

今回はFinderから離れてDAの話です。

漢字Talkのシステムに標準で入ってくる計算機DAはあまり使われていないようですが、これがなかなか便利なものなんです。

この計算機は、普通に電卓として使う場合には、やや不便を感じますし、四則演算しかできないので見捨てられていることが多いようです。でも使い方によっては、役に立つのです。

Copy/Pasteでスーパー電卓

この計算機DAは、Copy/Pasteができるのです。

これがなかなか便利なんですよ。

たとえば、文章作成中に計算式があって答えを計算しなければならぬとき、次のようにすると簡単にできます。

(1)計算式をイコールまでセレクトしてCopyします。(上の画面)

(2)アップルメニューから計算機を出してPasteします。(中の画面)

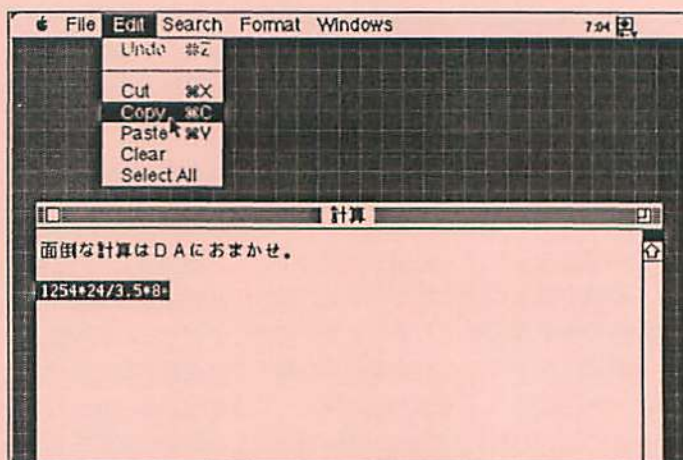
そうすると計算機がカタカタ動いて、答えが計算機の表示窓に出てきます。

(3)この状態でCopyして答えを書くべきところにカーソルを置いてPasteします。(下の画面)

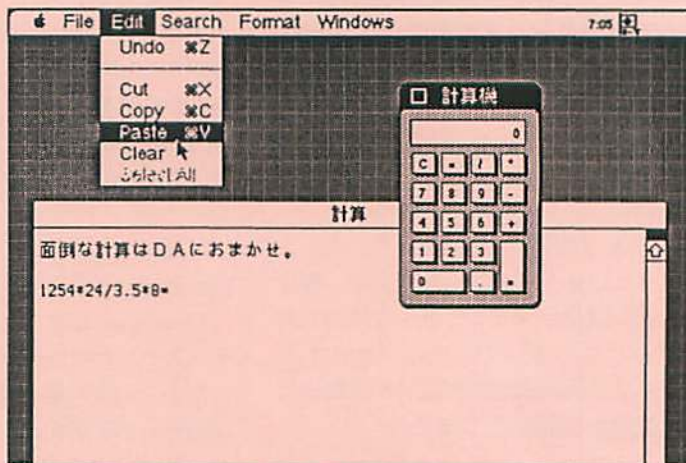
あーら不思議、ちゃんと答えが出てきたでしょ。

こんな便利なものを見捨てていませんか？ シンプルなものほど素晴らしい道具である場合が多いものです。これでマックの前で電卓を叩くなどという、みっともないことをしないで済みますね。

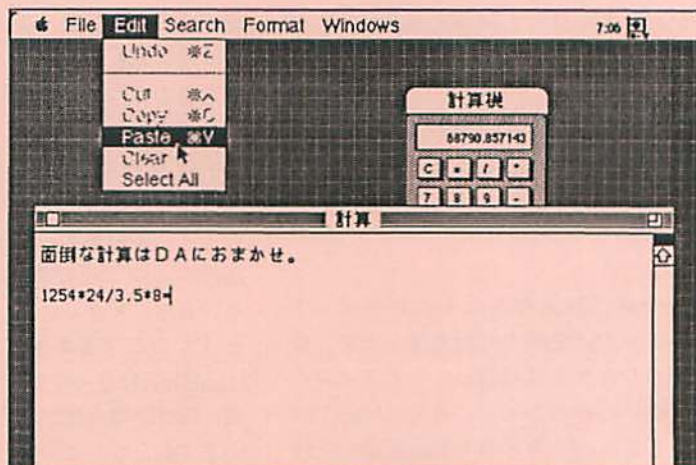
あ、この方法で計算できるのは、いわゆる半角文字だけです。漢字の(2バイトコード)数字は計算できませんので注意してください。



問題のCopy



問題のPaste



答えのPaste

IMF 掲示板

Mac all night セミナー開催決定!! 奮ってご参加ください

日時 11月18日(土)~19日(日)
 場所 雫石町、民宿「がまた」
 テーマ 1. 再び-ハイパーカードのボタンを作る-
 2. エクセルで家計簿
 3. なんでもQA
 案内役 福田健次、徳富亘、野村行憲
 参加費 7000円(1泊2食)

近々のIMF例会日程、12/7, 1/11, 2/8, 3/8

お知らせ

このたび盛岡で開催されました、MMMの記念品として作られた文鎮をご希望の方に、会員優先で、実費にてお分け致します。限定100個です。

形はMacPlus型、大きさは鶏卵大の黒い南部鉄器です。

値段：破格の800円

お申し込みは、葉書またはE-mailにて野村さんまで。

編集後記

♪カチコチコッチンお時計さん、カチコチコッチンまた惨事。(徳富)
 4ページ担当でやり甲斐がありました。3台のMacをApleTalkでNTX-Jにつないだ編集室へ皆さんもどうぞ。

(藤村)

回を重ねるごとにだんだん楽しくなってきました次号が楽しみ(杉)
 今回の編集作業は、久しぶりの難産で、ただいま10月3日の午前2:30です。皆さん、原稿は速やかにお送りくださいネ!

K.TOMO

やっぱり今回も...といった、いつもの乗りで第5集の編集作業も何とか終り、今度こそは最終編集の日は早く帰りたいですね。次回までにオリジナルのクリップアートをいくつか作りたいと常々思っています。(taka)

ビギナーと言いながら、挿絵も自分で用意された谷口さんのパワーに圧倒されました。(照井)

初めて編集の仕方を習い、その大変さと楽しさを知りました。DTPに夢中になりそう。(佐藤)

ふ〜疲れた。こんなに書いたのにこのうえまた編集後記なんて書く気にもならない。おまけに今回は突然Laser Writer-II NTX-Jは故障するし、原稿は遅れるし、担当とは連絡がつかないし、本当に参ってしまいました。このアクシデントの救いの神として編集作業に場所と器材を快く提供していただきました、佐藤護人さんには本当に感謝しています。それにしても編集委員の皆さん本当に遅くまでお疲れさまでした。この分で行くと今年最後の次号も何とか行けそうですね。(野村)

Oct.3rd '89 3:00AM

会員名簿

Dick Harry	盛岡市	
Evelyn Harry	盛岡市	
Richard L Lammers	盛岡市	
浅田 晶雄	和賀町	90MAC035
浅沼 清智	花巻市	
浅野 恵治	花巻市	
荒木 健次	東京都	10ZZ0035
安保 淳一	盛岡市	
伊崎 誠一	盛岡市	
大河原 清	滝沢村	90MAC021
沖野 寛	二戸市	90MAC044
小沢 隆	盛岡市	90MAC029
桂川 茂彦	盛岡市	
兼平 信一	盛岡市	90MAC055
萱沼 まゆみ	盛岡市	90MAC051
菅野 卓矢	盛岡市	90MAC006
工藤 道純	盛岡市	
熊谷 朋也	盛岡市	90MAC008
香城 孝廣	盛岡市	90MAC016
小松 勇夫	北上市	
斎藤 武	盛岡市	90MAC009
斎藤 伸	盛岡市	
佐々木 幸司	盛岡市	90MAC033
佐々木 俊光	胆沢町	
佐々木 治男	矢巾町	
佐々木 文雄	紫波町	
佐藤 護人	盛岡市	90MAC010
猿橋 浩昭	北上市	90MAC043
渋谷 誠	盛岡市	90MAC047
白石 隆	郡南村	90MAC039
菅原 健蔵	盛岡市	
杉村 栄一	盛岡市	90MAC036
鈴木 是光	盛岡市	
鈴木 卓	軽米町	
源川 昌男	盛岡市	
戦場 博和	盛岡市	
高橋 晃	盛岡市	90MAC031
高島 浩一郎	盛岡市	90MAC012
武元 伸次	盛岡市	
田中 慶司	盛岡市	90MAC007
谷口 和美	盛岡市	90MAC056
谷藤 幸夫	盛岡市	90MAC040
照井 恒	盛岡市	90MAC054
照井 秀夫	花巻市	90MAC026
徳富 亘	花巻市	90MAC015
中居 賢司	盛岡市	90MAC011
中島 順	流山市	90MAC003
西島 光茂	盛岡市	90MAC017
根本 勝彦	八戸市	90MAC042
野村 行憲	盛岡市	90NOMURA
日比野 利彦	郡南村	90MAC052
平野 三千代	盛岡市	90MAC019
福田 健次	盛岡市	90MAC005
藤村 洋	盛岡市	90MAC028
本多 健一郎	盛岡市	90MAC025
米谷 則美	盛岡市	90MAC037
真鏡 貞治	盛岡市	
松倉 拓次	郡南村	90MAC032
三浦 一之	盛岡市	
三浦 利昭	浄法寺町	90MAC045
三浦 吉純	盛岡市	
三田 光男	盛岡市	
村上 誠一	盛岡市	
村上 弘行	盛岡市	90MAC049
村川 寿	柏市	90MAC001
望月 善次	盛岡市	
本館 廣司	花巻市	90MAC013
森 貞吉	盛岡市	
山田 真希	盛岡市	90MAC053
山本 淳	千歳町	90MAC034
吉田 新二	盛岡市	90MAC020
吉田 実	盛岡市	
吉村 弦	盛岡市	



「林檎」5号は...

ASLTalk
ByWord
Color Magician
Digital Darkroom
EG-Bridge
EG-Word
Freehand
Illustrator
MacPaint
MacVJE
NinjaTerm
PageMaker
QuarkXPress
SuperPaint
Sweet JAM
TurboJip
TurboWriter

等で作ったものをPageMakerでま
とめて、LaserWriter II NTX-Jでプ
リントしました。

1989/10/5 創刊第5号
発行 岩手Mac友の会
代表 野村行憲
盛岡市月が丘 1-1-36
